第5回 青空文庫表紙コンテスト　作品募集

近年、著作権の切れた古い文学作品に、有名な漫画家が描いた表紙イラストを付けて販売する例が増えてきています。Web サイト「青空文庫」にはそうした著作権の切れた文学作品がたくさんアップロードされています。**皆さんも、そうした古い文学作品を読んで、感じたこと、心に残ったことを、表紙イラストにして表現してみませんか？**

◇ 募 集 要 項 ◇

■募集内容

下記の「募集対象作品」に挙げた①～③の文学作品を読んで、**他の人がその作品を読んでみたくなるような表紙イラスト**を作成してください。なお、複数の募集対象作品に応募していただいても構いません。応募した方には、**50 ポイント**を進呈します。

■募集対象作品

①『山椒大夫』（著者：森鴎外）
②『飴だま』（著者：新美南吉）
③『ルンペルシュチルツヒェン』（著者：グリム兄弟，訳者：楠山正雄）

※募集対象作品のテキストデータは¥showme¥附属図書館¥第５回青空文庫表紙コンテストのフォルダにあります。

■応募資格　本学学生

■応募規定

①A4 判用紙１枚（用紙の向きは縦、横を問わない）。手書き、電子データ（Windows 環境で読み込める形式であれば可）どちらでも可。別添の応募用紙に必要事項を記入の上、作品と共に附属図書館に提出してください。手書きの場合は、附属図書館カウンターに提出、電子データの場合は、図書館メールアドレス（flib@jin-ai.ac.jp）へ送信してください。

②作成する表紙イラストの中には、**必ず「募集対象作品のタイトル（[例] 山椒大夫)」「著者名（訳者がいる場合には訳者名も）（[例] 著：グリム兄弟、訳:楠山正雄)」を入れてください**。

※応募用紙（電子データ）は、¥showme¥附属図書館¥第５回青空文庫表紙コンテストのフォルダにあります。

■応募締切　**平成 29 年 12 月 15 日(金)**

■賞

『山椒大夫』優秀賞	１名（副賞：ｵﾘｼﾞﾅﾙ文庫本、図書ｶｰﾄﾞ 3,000 円分）
『飴だま』優秀賞	１名（副賞：ｵﾘｼﾞﾅﾙ文庫本、図書ｶｰﾄﾞ 3,000 円分）
『ルンペルシュチルツヒェン』優秀賞	１名（副賞：ｵﾘｼﾞﾅﾙ文庫本、図書ｶｰﾄﾞ 3,000 円分）

※該当者なしの場合があります。

■入選等発表　平成 29 年 12 月以降予定

■審査委員

委員長	大久保　功治	（附属図書館長）
委員	前田　博子	（生活科学学科生活デザイン専攻）
	野本　尚美	（生活科学学科生活情報専攻）
	岩田　章子	（生活科学学科食物栄養専攻）
	重村　幹夫・前田　敬子	（幼児教育学科）
	竹下　真弓	（附属図書館）

■著作権

応募いただいた作品の諸権利は、仁愛女子短期大学附属図書館に帰属するものとします。入賞作品及び応募いただいた作品は、図書館で所蔵の上、公開いたします。また、仁愛女子短期大学及び附属図書館のウェブサイトや本学広報誌等において公表する場合があります。

■募集対象の作品・作家について

①『山椒大夫』（著：森鴎外）

森 鷗外（1862-1922）は、日本の明治・大正期の小説家、評論家、翻訳家、陸軍軍医、官僚。作品『山椒大夫』は、安寿と厨子王は父を訪ねる旅の途中で、人買いに誘拐されてしまう。母とも引き離された二人は山椒大夫に買われて奴婢となる。姉の安寿は弟を逃がして自らは死を選ぶ。厨子王は母と再会できるのか。

（引用・出典：Wikipedia 及び https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-08-EK-0112558）

②『飴だま』（著：新美南吉）

新美南吉（1913－1943）は昭和期の児童文学者。中学時代に児童文学を志し、昭和 6 年から雑誌『赤い鳥』に『ごん狐』などを投稿。結核により 29 歳の若さで亡くなった。作品『飴だま』は、二人の子供を連れた母親が、恐そうな侍と同じ渡し舟に乗りあわせた。居睡りをはじめる侍の横で、子供たちが飴玉をめぐって騒ぎだした。居ねむりを邪魔された侍は・・・・・・。（引用・出典：「新美南吉記念館ホームページ」、『新潮日本人名辞典』（新潮社辞典編集部(編), 新潮社, 1991 http://chikakos.cocolog-nifty.com/mp3/2007/02/post_5c97.html』）

③『ルンペルシュチルツヒェン』（著者：グリム兄弟）

兄ヤーコルム（1785-1863）、弟ウィルヘルム（1786-1859）ともにドイツ説話学の創始者。『グリム童話集』で有名。作品『ルンペルシュチルツヒェン』は、貧しい粉引きが、王に「うちの娘は藁を紡いで金に変えることが出来る」と嘘をつく。王は娘を王妃にすることを条件に藁を金に変えるようにせまり、塔の上に糸車と藁とともに娘を閉じ込める。三日後の朝までに金が紡げないと彼女は殺されてしまう。娘が泣いていると小人（ドワーフ）が現れ、最初の晩はネックレスと引き換えに金を紡いでやろうと迫る。次の晩は、指輪と引き換えに紡いでやろうと迫る。いよいよ処刑が迫る最後の晩、小人は最初に生まれる子供と引き換えに藁を金に変えると迫るが・・・・・・。（Wikipedia 及び『日本大百科全書（7)』（相賀徹夫(編集著作), 小学館, 1988）より